外来 ・ 入院　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　*指示日;　　年　　月　　日*

NO	4086-1	レジメン名	HER『BS』-XP【初回用】		
病棟 患者番号 氏名	癌種	ステージ	PS	クール数	指示医師名
	年齢	身長	体重	体表面積	GFR（血清ｸﾚｱﾁﾆﾝ値）
	歳	cm	kg	㎡	ml/min (mg/dl)

【適応がん種】 胃がん

1・トラスツズマブBS　8　mg/kg　DAY1

2・カペシタビン　下記参照　DAY2～15

3・シスプラチン　80　mg/㎡　DAY2

21日（3週）1クール

CCr補正	GOT補正	T-Bil補正
50減量, 30禁	2.5倍以下	1.5倍以下
60～30禁	−	禁5.1
Neu基準	**HGB基準**	**PLT基準**
1500	−	100000
GOT基準	**T-Bil基準**	**Ccr基準**
150	3	60

【病状】
1　全て説明している
2　病名は説明しているが、詳しい病状についてjは説明していない
3　未告知である

【治療】
1　抗癌剤による治療・予防と説明
2　抗癌剤とは言わず治療薬と説明
3　抗癌剤とは言わず予防薬と説明
4　薬に関しては説明していない

平成20年7月1日 改訂

NO	薬品1	規格	本数	薬品2（規格本数）	時間・投与法
	前投与;ロキソプロフェン1錠・ポララミン2錠の内服。				
①	トラスツズマブBS（　　　）mg	150mg	本	生食250mL	1時間30分で点滴
		60mg	本		
②	生食50mL		1 本		全開で投与
③	アプレピタント125mg内服				
④	パロノセトロンバック		1 本		②内服後～全開
⑤	デキサメタゾン 6.6mg		1.5 本	デノサリン500mL	1時間で点滴
	アスパラギン酸カリウム		2 本		
	硫酸マグネシウム		1 本		
⑥	マンニトール 300mL		1 本		デキサメタゾン終了後～30分で点滴
⑦	シスプラチン（　　　）mg	50mg	本	【生食250mL】	マンニトール終了後～1時間で点滴
		25mg	本		
		10mg	本		
⑧	ヴィーンF500mL		1 本		シスプラチン終了後～1時間で点滴
⑨	ヴィーンF500mL		1 本		ヴィーンF終了後～1時間で点滴
⑩	デノサリン500mL		1 本		ヴィーンF終了後～1時間で点滴

★DAY2に カペシタビン錠 14日分 オーダー必要★

⑪

<u>カペシタビン 2000mg/㎡（端数切捨て） 分2 14日分 初日は夕～内服</u>

A・ BSA1.36未満･････････カペシタビン（300mg） 2400mg/BODY/DAY 8錠 分2 朝夕食後 14日分

B・ BSA1.36-1.66････････カペシタビン（300mg） 3000mg/BODY/DAY 10錠 分2 朝夕食後 14日分

C・ BSA1.67-1.96････････カペシタビン（300mg） 3600mg/BODY/DAY 12錠 分2 朝夕食後 14日分

<u>2週間服用 1週間休み</u>

202201改訂

うら面オーダー必要

うら面確認必要

月日				指示医	受け			製	調監	前確	実施
			①② DAY1								
			③～⑩ DAY2								

次クール予定日【　　　　　　　　　　　　　　　　】

外来 ・ 入院　　　　　　　　　　　　　　　　*指示日;　　　年　　月　　日*

【トラスツズマブ　注意事項】
□他の薬剤との併用の場合でも初回は同日投与避ける
□発熱・悪寒の発現予防にロキソプロフェン・ポララミンの前投与を考慮すること。
□投与予定日を1週間以上越えて投与する場合は、再度8mg/kgで投与すること。
□投与前および3ヶ月に1度、心エコーを考慮する。

医 師 指 示 表

月 日	指 示 事 項	指示者名	受領者名
	シスプラチン投与日　1日2回　 尿量測定	↓	
	①レジメンの点滴開始からの5時間　②その後の5時間		
	↓		
	CDDP当日・・・・・・・・・・上記5時間の尿量が500mL以下の場合ラシックス40mg1錠内服		

★院内セットメニュー 【高度催吐性リスク レジメン】

					指示者名	受領者名
	DAY　3～5（翌日から内服）					
	デカドロン（0．5mg）	16錠	分2～分3	3日分		
	アプレピタント（80mg）	1Cap	朝食後	2日分		
	吐気時（必要に応じて処方）					
	メトクロプラミド錠	1回2錠	10回分（1日3回まで）			

次クール予定日【　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　】